



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

平成29年9月29日(金)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 佐野 匡

豊二小だより

10月号

「と」と「も」

校長 佐野 匡

気持ちよい天気の中で運動会の練習が進んでいます。いよいよ運動会が来週となりました。普段から取り組んできた体育学習や体力向上の発表の場です。ご家族や地域の方々の応援が、子供たちにとって次への意欲へとつながります。是非、ご来校いただき励ましを頂ければと思います。

「学校」には、「子供」と「親」と「教師」が存在します。そして「学校」は、「教えるもの」と「教わるもの」との信頼関係の上に成り立っています。この「と」は結びつけるものです。どれか一つがはずれてもいけません。この「と」が太いものであればあるほど、結びつきは強固なものになるはずです。また、学校は、知識や技能を教える所ですが、心と体の成長を促してこそ、知識や技能も自ずと身に付いてくるものです。子供たちは、この2週間運動会の練習に一生懸命に励んできました。学年ごとの表現、各種目、応援などに対する練習を繰り返し行ってきました。ともすると、「行事の時には教科の学習がおろそかになるのでは。」と思われがちですが、実際には運動会の練習が進む中で教科の学習も充実していました。まさに心と体の成長と知力の充実が図られたこととなります。そこには教師による指導・支援があり、教師と子供のかかわりもさらに充実していきました。

そして、子どもの成長過程には「教わる力」と「育つ力」の二つがあります。その力を確実に育てるには「子供も」「親も」「教師も」「よくなるよう。」「よくしよう。」と思い、行動することが必要です。

練習を通し、たくさんの「と」と「も」の姿が見られます。運動会当日「と」と「も」をさがしにきてください。



練習を重ね、力一杯の応援をリードします。



準備運動もしっかり教えます。子供たちはそれを実践します。



教師も一緒に走ります。子供たちと共に応援します。



Jアラートへの対応について

豊玉第二小学校では、子供たちが学校にいる際、Jアラートによる警報が出たときには、「各教室に入って身を守る行動をとる。」を基本行動とします。運動会当日警報が出た事を想定した訓練も全校練習時に実施します。運動会を行っている時に警報が出た場合には、最初に児童を校舎内に避難させ、その後、地域・保護者の皆様を誘導することになりますのでご承知おきください。